

平成30年 第8回 教育委員会会議録	
1. 開会日時	平成30年 9月28日(金) 午後1時30分
2. 場 所	豊玉文化会館1階 研修室
3. 出席委員	吉野委員、一宮委員、齋藤委員
4. 出席者	永留教育長、須川教育部長、八島次長兼教育総務課長、中島学校教育課長、庄司生涯学習課長、田中文化財課課長補佐
5. 会議書記	阿比留課長補佐
6. 閉会日時	平成30年 9月28日(金) 午後2時45分
7. 議 事	
日程第 1	会議録署名委員の指名
日程第 2	会期日程の決定
日程第 3	教育長諸報告
日程第 4	議案第24号 専決処分の承認を求めることについて (教育委員会の点検・評価報告書について)
日程第 5	報告第11号 平成30年度対馬市島っこ留学生の受け入れ等について
日程第 6	その他

永留教育長	<p>ただいまから平成30年第8回対馬市教育委員会会議を開会いたします。これから本日の会議を開きます。議事の進行につきましては、対馬市教育委員会会議規則等により進めたいと思います。</p> <p>では、日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。今回の会議録署名委員は、吉野委員さん及び齋藤委員さんを指名します。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、日程第2「会期日程の決定」であります。お諮りします。本会議の会期は本日、一日にしたいと思います。</p> <p>これに御異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし」の声。
永留教育長	<p>「異議なし」のようです。</p> <p>したがって、会期は、本日、9月28日の一日といたします。会議運営につきまして、御協力をお願いいたします。</p> <p>次に、日程第3「教育長諸報告」を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>9月3日に2学期がスタートしまして、4日から14日まで第3回対馬市議会定例会が行われました。4日の初日には、教育委員会関係では平成29年度の教育委員会の事務の管理より執行状況についての点検評価の報告を行っております。関連するものとして今日の議案にも挙がっているようです。その報告について5点ほど議会の中で質問を受けました。10日と11日に一般質問が行われまして、5人の議員から質問を受けております。項目だけ説明しますと、1点目がブロック塀の安全性について、2点目が熱中症防止対策について指導やエアコン設置についての質問を受けております。3点目がトイレ洋式化の進捗状況について、4点目が特に金城城周辺にかかる観光名所の環境整備について、5点目が学校環境衛生基準の改正に伴う調査等の対応状況について、6点目が通学路の安全対策と整備について、5人の議員から質問を受けております。</p> <p>15日に赤米行事周知事業が豆殿で行われました。それに参加しております。文化財課がバスハイクを計画してくれまして、赤米を写真であるとかスケッチで表現しようという取り組みです。私自身も実物の赤米を初めて見ることができました。田んぼの周りで保存会の方が赤米ご飯と甘酒をふるまってくださいまして、それが終わって美女塚に移動して文化財課が準備をしてくれた赤米でできたカステラと赤米アイスをいただきました。参加された方は大いに満足されていたようです。</p> <p>16日は全島的に中学校であるとか小中合同の運動会が多く実施されております。私は厳原中学校に参加しましたけれども、教育委員さん方にも参加していただいております。</p> <p>21日に「教育県長崎」振興大会に向けてのシンポジウム打ち合わせ会を行っております。この振興大会が10月13日に開催されるわけですけれども、その中心となるシンポジウムについて、4名のシンポジストと、私がコーディネーターをしなければ</p>

	<p>ばならないということで大変頭を抱えていますけれども、その打ち合わせを行っております。このシンポジウムの協議、は豊かな心を身につけた「つまっ子」を育むための学校、家庭、地域社会の役割と連携という協議でシンポジウムを行うことになっております。</p> <p>25日に中高連携協議会と書いてありますけれども、これを9月5日の定例校長会の時に三高校の校長先生方にも参加をしていただいて、市教委主催で中高連携協議会を立ち上げております。この中で義務と県立の間にあった垣根を少しでも取り除いて中学校と高校が情報を共有していくことにより、対馬の子どもをどう育てるか、対馬の教育をどう進めていくかということについて協議を行っております。</p> <p>その夜に浅海中学校で保護者向けの第2回目の統合説明会を行いました。この中で100パーセントの同意ではないんですけれども、仕方のない同意をもらいました。課題として残ったのは校区といますか、地区によって学校をどうするかということが課題として残っております。これは今後行う地区説明会の中で方向性を見つけていきたいと思っております。26日に教育長、校長合同研修会が行われまして、来年度に向けた人事作業がスタートしました。県から管理主事等が来て説明を受けております。</p> <p>以上で諸報告を終わります。報告事項について何か質疑等ありましたら「その他」の項でお受けしたいと思います。</p> <p>続きまして、日程第4、議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
八島課長	<p>議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」、対馬市教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定によりこれを報告し、教育委員会の承認を求めます。今回専決処分としましたのは教育委員会の点検・評価報告書でございます。提案理由といたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」とされています。また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。</p> <p>この報告書は、8月29日に開催された第2回教育委員会の点検・評価委員会で最終案が決定されましたが、教育委員会にかかる暇がなかったため、専決処分し、平成30年第3回対馬市議会定例会に提出しましたので、ご報告し、ご承認をお願いするものです。4ページに専決第2号を載せております。</p> <p>それでは、点検・評価報告書の内容についてご説明をいたします。今回新たに3名の学識経験者の方に委員を委嘱し、7月31日に第1回目の点検評価委員会を開催し、教育委員会事務局から項目ごとに説明を行いました。それが報告書の10ページから</p>

32ページでございます。その後、所見を求めることといたしまして、8月29日に第2回目の点検評価委員会を開催し、委員からいただきました所見に対する確認を行い、報告書をまとめました。委員の所見として評価できる点、改善を要する点につきましては2ページから9ページに記載しております。

まず、評価できる点につきまして2ページ第1、教育委員会の活動及び管理執行事務、1、教育委員会及び教育委員の活動で、①教育委員会会議の運営改善で、議事録をホームページで公開して市民へ情報公開していることなど4項目について。2、教育委員会が管理または執行する事務のうち、教育長に委任できない事務の中では、①教育行政の基本方針に関すること、で「対馬市教育振興基本計画」は、第2次対馬市総合計画はほかの計画との関連を踏まえ、非常によく作成されていることなど4項目について評価いただきました。3ページ、第2、教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）の1、学校教育の推進に関する事務では、①地域特性を踏まえた教育の充実で、小学校複式指導法研修会は内容や実施時期を工夫しながら継続実施をされていることなど5項目について、また、4ページ、2、社会教育の推進に関する事務では、①家庭教育の推進で、家庭教育の充実を図るため「つまっ子家庭教育10か条」のチラシを新入学の園児・児童へ配布したことなど計11項目について評価できるという意見をいただいています。

次に、改善を要する点につきましては、6ページから9ページに記載しております。第1、教育委員会の活動及び管理執行事務のうち、1、教育委員会及び教育委員の活動について、①教育委員会会議の運営改善で、議事録のホームページでの公開は評価できるが、すべての市民がパソコン等でホームページを見るわけではない。全市民に主な内容やトピックス的なことを知らせられるように、市広報誌等に「対馬市教育委員会だより」のコーナーを設ける等工夫をしてほしい。②教育委員会と市長との連携では、総合教育会議は、市職員の人事権や予算編成権のない教育委員会が、普段できない教育行政の課題や要望を伝え実現させるためにも、事業検討時期や予算編成期前、人事異動期前など、開催時期や回数の見直しをしてほしいということでした。次に、2、教育委員会が管理または執行する事務のうち、①教育行政の基本方針に関することで、「対馬市教育振興基本計画」は大変よくできている。しかし、各課の取り組みに温度差があり、せつかくの計画との整合性が取れていない面がある。常にこの計画を意識した、より具体的な事業の展開を望む。②学校そのほかの教育機関の設置及び廃止に関することでは、小さな集落が散在し、縦に長い地理的な特性を持つ対馬の学校の適正規模については、文部科学省の基準による適正規模をそのまま当てはめることは現実的ではない。平成23年度に策定された「対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画」についても固執することなく、例えば併設校や同一中学校内の小規模小学校と中学校を1つにまとめて小中一貫の義務教育学校にするとか、IT機器の活用による小規模小学校を存続させるなど、柔軟な発想で学校の統廃合を工夫してほしい。③教育

委員会表彰を行うことについては、市民には、このような制度が制定されたことがあまり知られていない。広報誌やCATVを活用するなどして、すべての市民に周知できる方法を工夫してほしい。④文化財の指定又は解除に関することでは、阿須川のアキマドボタル生息地の指定は、現状からみて解除することも検討してほしい、との意見をいただきました。7ページ、第2、教育委員会事務局の執行事務のうち、1、学校教育の推進に関する事務で、①地域特性を踏まえた教育の充実について、初任者研修は充実したものという趣旨はよく理解できるが、その反面、教師の負担増だけでなく、一番大切にしてほしい児童・生徒と向き合う時間が減少しているのではと懸念している。新補及び転入管理職員研修会は、今後対馬出身の管理職員の減少が予想される実情を踏まえ、対馬市の教育方針や教育実態、さらには学校や子どもたちの実情を十分認識した学校経営に取り組めるよう、原点に戻って内容を充実させてほしい。

②特色ある学校づくりでは、学校と地域を結び付ける要素として、地域の特色ある行事、歴史、文化に子どもたちが触れ、共同学習できる機会をもっと作ってほしい。平成29年度は11名の新任校長がいたことや、2回目の時期が業務繁忙期であり、2回目を文書報告にしたことは致し方ないことと理解できる。しかし、2回目を文書報告としたことで、緊張感が薄れ形骸化しないか危惧する。文書報告内容を次年度に検証したり、新任校長の多い年と少ない年で方法を変えるなど柔軟な対応策を工夫してほしい。

③情報教育の推進では、機器の設置などハード面の整備は計画的に行われているが、教員のスキル向上が喫緊の課題と思われる。児童・生徒の情報技術や活用能力の前提となる教員の活用能力や指導力の向上の充実を図ってほしい。また、小規模校や複式学級における指導に活用できるよう、研究校等をはじめとする実践事例を積極的に発信してほしい。

2、社会教育の推進に関する事務では、①社会教育各種団体との連携を図った成人教育の充実、家庭教育の推進、社会教育施設の充実について、活動内容等が具体性をやや欠くためか、点検・評価のコメントが抽象的で取り組みの実情が見えない。「対馬市教育振興基本計画」での関連施策の方が具体的である。この計画との整合性を図り、これに基づく事業の展開や点検・評価の項目立てをして目標達成を目指してほしい。各団体の会員数の減少等による組織の弱体化を補うため、対馬市内で活動している他団体（例えば、対馬市ボランティア連絡協議会）等との連携を考えてみる必要があるのではないか。

②人権・同和教育の推進では、学校教育課との連携・協力体制をさらに強化し、関係事業が前例踏襲のマンネリにならないよう工夫してほしい。

③子どもの体験型学習の充実では、本事業の根本目的は、対馬市教育委員会の重点事項でもある「ふるさと学習」「郷土を愛するつしまっ子の育成」にあるといえる。優れた教材でもある「つしまっ子郷土読本」も作成されている。文化財課や学校教育課との連携により、三課合同事業として拡充してほしい。「対馬市教育振興基本計画」に掲げられている「郷土愛教育推進」や学校・家庭・地域が一体となった子育てシステム構築の具体策が現状では見えない。各事業の単発ではなく、相互連携

化を図った複合事業としての見直しを望む。④学社融合による地域が連携した青少年教育の充実については、「対馬少年の主張大会」の参観者を増やすために毎年努力をしていると思うが、なかなか成果が上がっていない。来場者を増やすことも大切であるが、目的は1人でも多くの人に意見を聞いてもらうことである。各学校に当日のビデオを配布し、生徒全員が視聴できるような工夫が必要ではないか。⑤生涯スポーツを通して健康な心と体づくりの推進では、社会体育施設の維持管理については、指定管理者制度が導入されているが、業者によって維持管理のレベルに幾分差がある。担当部署として、市民の要望を聞くなど、業者の管理状況を点検し指導することも必要ではないか。中学校の部活動や社会体育として行われる小学校のクラブスポーツの過熱化は大きな社会問題となっている。特に、社会体育における小・中学生のクラブスポーツの望ましい在り方については、指導者への直接指導や是正依頼の文書等、多様な手段を工夫し適正化を図ってほしい。⑥芸術文化活動の推進では、生涯学習課主管の文化的事業が「市民美術展」しかないのは、多少物足りない。また、来館者も減少している現状を打破する対策が必要。例えば、各町文化展での作品を抽出出展したり、幼・小・中・高の子どもたちの作品を展示するなど工夫が望まれる。作品展はそれなりに評価できるが、市民の参加意欲を高めるためには作品展と同時に有名な島外講師を招聘して文化活動への関心をさらに高めていく必要があると思われる。特に小・中学生にとって一流の文化人と触れ合うことは非常に大切なことである。⑦市民のニーズをとらえた公民館活動の推進では、公民館講座は、住民のニーズをつかみ、学びへと展開させていくために必要な学習機会を提供するものであるが、一方で対馬固有の文化を学習し、郷土愛を高めるための学習機会の提供も欠かすことのできないものである。バランスを考えた講座計画が必要ではないか。地域で読書活動を推進するためには、身近なところで読書できる環境を整備していくことが大切である。そのためには公民館図書室のサービス拡充をさらに進めてほしい。⑧図書館活動推進では、各地区公民館や、学校移動図書に加え、各集落の高齢者等も視野に入れた「だれでも、いつでも、どこでも」本と出会える積極的で具体的な事業を工夫してほしい。例えば、広報誌やCATVで周知したうえでの各集落の集会所での巡回図書貸し出しなど、各地域に打って出る姿勢が望まれる。長年継続して小学校で「絵本の読み聞かせ」を続けているボランティアグループがいるが、他地区でも広まるよう図書ボランティアの実態を把握して支援を強化してほしい。⑨指定文化財の保存整備では、維持管理や保全整備に関係組織や団体の協力も得て行われている。しかし、専門職員の充足及び遺跡調査体制要員などが必要である。対馬の宝でもあり継承していかねばならない文化財等に関わる人員の補強が望まれる。文化財の指定をおこなった地域、特に国指定の場合などは、それに伴い市内での説明会を慣例化すればもっと市民の理解や関心が高まると思われる。保全整備事業の終了時もまた同様である。⑩市内所在文化財及び関係施設の保全及び修理については、豆殿、多久頭魂神社の梵鐘の保全が心配である。

	<p>盗難防止のためにレプリカを作成して実物は資料館等に保管するような検討が必要である。豆蔵管内における豊富な文化財を、当地に保存設備を設置して、保存管理するとともに、住民にわかりやすい文化財の公開方法を検討してはどうか。独立した「文化財センター」的な施設の設置を進め、対馬固有の文化財産・資料等を整備活用するとともに人的な補充も実施し、文化財行政に対する市民の関心を引きつけるとともに、子どもの学習にも役立てるよう切望する。⑪文化財の普及活用では、日本遺産と世界記憶遺産が本市の努力で登録決定されたことは喜ばしい限りであるが、同時に課題も山積されている。普及のために学校教育、公民館講座等とタイアップして計画的に現地視察等を含めた学習機会を作ってほしい。⑫市内所在遺跡の範囲・内容・分布調査については、公共工事に伴う埋蔵文化財の取り扱い・周知については、公共関係部署並びに工事業業者等と事前に連絡調整を図るとともに、必要に応じ研修等を行い、埋蔵文化財の破壊、損傷を未然に防止してほしい。</p> <p>以上のような指摘、要望を受けております。指摘いただきましたことにつきましては、鋭意改善努力をしてみたいと考えております。以上説明を終わります。次年度は日程調整等早め実施し、議会への提出前に教育委員会会議に上程できるよう事務を進めてまいりますのでご承認いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
永留教育長	説明が終わりましたので審議方よろしくお願いいたします。質疑等はありませんでしょうか。
一宮委員	今後の方向性や課題など改善点の対応策については具体的にどうなっているのか。私たち教育委員も意見できる場があるのか。
八島課長	改善点等は各課それぞれ把握しておりますので、まだ課内で検討している状態で、具体的などころまでは進んでいないところです。一部はすでに実施している部分もあります。
永留教育長	<p>来年度に向けて、改善を要する点につきましては対応を考えていかなければならないと考えています。今年度は年間計画に基づいて進めておりますので、来年度の計画に生かしていかなければいけないのではないかなと考えています。</p> <p>来年度に向けて検討していくために、改善を要する点などを出していただいたことに対して教育委員さん方が意見をくださればいいなと思うんですけども。</p>
一宮委員	課長さんが、もう各課で検討して形ができつつあるという答弁だったので、そうしたものがもうできつつあるなら、素案なりが挙がったらそれを拝見させていただきながら私たちの意見が述べるができるのかなと思ったので。
八島課長	具体的な計画もまだ作る状況ではない。これに対する反省が各課いろいろありますので、次年度に向けたところで次年度からされる部分については検討していくという状況で、今年、今でもすぐできるような部分については対応しているところも中にはあるということです。改善点の計画をつくるという状況ではありません。

永留教育長	ほかにありませんでしょうか。
吉野委員	<p>来月市長との総合教育会議が計画されている。市長との懇談の中で次期検討、改善するものの意見を言う場があると思うので、予算もふくめ、改善するべき点を教育長にも市長にも訴えていきたい。</p> <p>議会の中でもあったように、例年2月3月に検討の場が設けられても次年度予算に反映することができない。今年は10月に開催されるということで、今年度は改善提案の場が設けられたかなと思っています。</p>
八島課長	大きい予算のものについては委員さん方にも後押ししてもらおう形で、こちらからもお願いできればと思っている。
永留教育長	<p>県下的には都市教育長会議でも私からほかの市に聞いてみたんですけれども、予算編成であるとか人事であるとかを総合教育会議でやっているという所と、そういうのは内容的におかしいという教育長さんもいらっしゃいました。総合教育会議だから、教育の本質といいますか、将来あるべき子どもたちの姿を求めて教育委員会がもっと教育の本質に関わる部分での意見交換であるとか、対馬市のこれからの教育に関してどういうふうな方向で進めてほしいというような、教育の本質がそこに入っていないと総合教育会議ではないのではないかと。それには予算等も必要になってはくるんですけれども、予算編成には云々、それは事務局の仕事なので、という教育長さんもいらっしゃいました。</p> <p>ほかにありませんでしょうか。</p>
一宮委員	議会の際の議員さんからの質問5点の内容は。
永留教育長	<p>1点目は総合教育会議についてのことで、ここに書かれているようなことと重複したような質問でした。2点目が新補転入管理職員研修会をやっているわけですが、その中で対馬の歴史であるとか対馬の特徴についての講話をやったんですけれども、それを新補転入管理職員だけではなくてすべての教職員にやる必要があるのではないかという指摘、3点目が学校統廃合に関して義務教育学校の設置について、4点目が新任校長校訪問を2回やっていたわけですがそれを1回にして文書報告を求めることはどうかということ、5点目は近代化文化遺産の指定についてそれが遅いのではないかという指摘を受けております。</p> <p>別件ありませんでしょうか。ほかに質疑等ないようですから、これから議案第24号を採決します。お諮りします。議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」は原案のとおり承認することにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし」の声。
永留教育長	<p>「異議なし」と認めます。よって、議案第24号は原案のとおり承認されました。</p> <p>つづきまして、日程第5、報告第11号「平成30年度対馬市島っ子留学生の</p>

	受け入れ等について」の報告を行います。事務局から報告をお願いします。
八島課長	<p>報告第11号、平成30年度対馬市島っ子留学生の受け入れ等について。対馬市島っ子留学推進協議会長から里親の決定及び留学生の受け入れについて別紙のとおり報告があったのでこれを報告します。</p> <p>別添資料の対馬市島っこ留学里親留学生決定の報告をご覧ください。1ページでございます。9月からの留学希望があり、平成30年8月27日に開催された対馬市島っ子留学推進協議会において、里親と留学生の推薦決定及び受け入れ承認がされ、報告がありました。里親についてですが、(1)になります。もう1つの資料の対馬市島っ子留学生里親申込情報の1ページも合わせてご覧ください。お名前がNさん、上県町の方です。委嘱期間は30年9月3日から新元号となって最初の3月31日までとなっています。現在、学校図書館支援員として活躍をしておられます。次に(2)島っ子留学生の受け入れ決定について、2名の留学生の受け入れ決定がされております。1人目、申込者情報は2ページから4ページになります。名前がS君で、中学2年生、福岡県からの留学生です。8月17日に母親と事前訪問に来て留学生申し込みとなっております。2人目は申込情報の5ページから7ページになります。名前がI君、同じく中学2年生で福岡県からの留学です。8月8日に実施しました島っ子体験留学の参加者で、留学の申し込みとなりました。2ページの写真は体験留学での紹介です。3ページに2人の写真を載せています。以上で報告は終わります。</p>
永留教育長	報告が終わりましたが、この件に関して質疑等ありませんでしょうか。
吉野委員	I君は事前訪問なしで来たのですよね、S君の体験留学の有無について。
八島課長	I君は8月8日に体験留学をした時の子どもで、S君は、体験はせず後日母親と2人で事前訪問という形で対馬を確認されてから申し込みがありました。
永留教育長	ほかにありませんでしょうか。
一宮委員	学習とか友達関係に対して学校との様子は。
八島課長	S君は溶け込みもうまくできている。I君は元々不登校があり、こちらに来て初日通った後で不登校が出まして、現在はフルタイムではないが図書室に通学している。そういったこともあり、保護者さんも環境を変えたいということで申し込んだということもあるみたいです。
一宮委員	島っ子留学を対馬市がする目的、つまり不登校生徒を預かる制度ではないと思う。対馬の自然に身を置いて子供の輝きを求めていくんじゃないかと思うのですが、その辺りを進めていくうえで、基準なり、島っ子留学の目的なりははっきりした上でしていかないと。全国で色々なところが留学制度を設けているが、島を求めて来る子供は不登校の子が多いんです。受け入れている学校も小規模校が多いのですが、対馬はまた状況が違う。全国の島留学の視点で来られてしまうと、現場に

	負担になるようなことではいけないのではないか。
永留教育長	<p>意見として今後に生かしていけたらと思います。ほかにありませんでしょうか。ほかに質疑等ないようですから、報告第11号「平成30年度対馬市島っ子留学生の受け入れ等について」の報告は終了いたします。</p> <p>続きまして、日程第6「その他」の事項に移ります。まず初めに、各課の事業予定について報告させていただきたいと思います。お手元に10月分の事業予定表を配布しておりますのでご覧ください。教育総務課から順に主な内容について報告をお願いします。</p>
教育総務課 (八島課長)	<p>14日日曜日に国境サイクリング in 対馬大会が開催されますので職員もボランティアで協力する予定です。19日に学校事務職員・市教委連絡会が開催されます。22日に教育委員会会議、総合教育会議が開催される予定です。月間業務といたしまして、11月の15、16日で長崎県都市教育長協議会が開催されますので、その準備等を進めてまいります。以上です。</p>
学校教育課 (中島課長)	<p>市教委の主催でないものも関連があるものとして載せております。</p> <p>1日が校長会です。2日が中体連主催ですけれども、中学校体育大会の駅伝競技が峰で行われます。3日が巖原町の小体会です。教育長が出席をしてくださいます。4日が美津島町の小体会、南地区の所長が出席をしてくださいます。5日が教頭会です。7日に運動会が鶏鳴幼稚園と比田勝こども園で予定されております。教育委員の先生方よろしくお願いいたします。11日が特別支援教育連携協議会の実務者のみの会議です。12日が上県・上対馬町の小体会で、部長に出席していただきます。13日に教育県長崎の振興大会が交流センターを会場にして行われます。17日が東小学校の経営訪問です。23日が西部中学校の経営訪問です。25日の午後から26日の午前にかけて、九州へき地・小規模校教育研究大会の長崎県大会が今年度対馬で開かれます。1日目が全体会とか研究発表が行われます。九州の各地から主にへき地、小規模校の先生方が来られて実践等発表をされます。2日目が対馬市の6つの学校において公開授業と研究授業が行われます。対象となる学校は金田小学校、佐須中学校、今里小学校、美津島北部小学校、浅海中学校、東小学校です。各学校には本年度導入されましたタブレット等を用いたICT教育の一端を九州各地から来られる先生方に公開していただくようにとお願いをしております。29日が教育相談会です。特別支援教育担当主事が対応いたします。29日と30日2日間の日程で臨時校長研修会となっておりますけれども、9月の終わりに県教委から人事に関する今後の流れについて説明ありましたけれども、それを受けての校長先生方へのヒアリングを行います。31日が北部小学校の経営訪問です。以上でございます。</p>
生涯学習課	<p>7日に豊玉、峰、上県各町の体育の日関係のスポーツ大会が運動公園を中心に</p>

<p>(庄 司 課 長)</p>	<p>開催されます。17日に青少年育成ココロねっこ指導員等講習会が長崎県の青少年育成県民会議から来島されて開催されます。20日に万葉の会文化交流祭が交流センターで開催されます。このイベントは滋賀県立大学の林名誉教授の講演とオペラ歌手を招聘して、万葉集の中で対馬を舞台とした和歌にメロディを付けたオペラを披露する歌会が披露されます。この歌会には、鶏知中学校の生徒が数曲参加いたします。21日に上対馬町のスポーツフェスティバルが開催されます。例年体育の日の前日の日曜日に開催をしておりますが、今年は比田勝こども園の運動会と日程が重なったために21日の開催になっております。27日に親子読書の集い in 対馬が開催されます。長崎県との共催で、地元図書ボランティアによる読み聞かせや、『お父さんはウルトラマン』などで人気の宮西達也先生をお迎えしての絵本ライブを行います。27日から28日にかけて、峰町の文化祭、文化発表会を開催いたします。28日にみつしま120分間耐久リレーマラソンがグリーンピア海浜公園で開催されます。このリレーマラソンは1チーム3～6名の編成で、1.4キロのコースを交代しながら120分間で何周できるかを競うものです。峰町以外の5町の文化祭は、文化の日を中心としました11月3～4日に開催の予定です。以上です。</p>
<p>文化財課 (田中課長 補佐)</p>	<p>2日、九州国立博物館資料返却の対応をいたします。これは対馬高校所蔵の資料返却に立ち会うこととなっております。3日水曜日、同じく借用の対応ですが、そのほか鳥栖市からのお客様の対応もいたします。11日、長家文書調査、対馬藩お船江跡の事業に関連しての文書調査となっております。13日万葉文化イベント協力と書いてありますが、この日から万葉の会が絵の展示の準備に取り掛かる予定となっておりますので協力したいと考えております。14日日曜日、伊都国歴史博物館特別講演ということでうちの職員が糸島の伊都国歴史博物館に行って講演をしてきます。16日、多久頭魂神社一切経修理監督。本市からも職員が九州国立博物館で一切経の修理を行っていますが、その修理監督状況を文化庁、教育委員会と一緒に携わる予定となっております。17日小郡市郷土史会の来訪依頼がありますので対応したいと考えております。19日万葉文化交流祭の前日となりますイベント協力ということで、金田城周辺を船で周遊したいという依頼を受けております。20日は交流祭本番ですので協力することとなっております。21日に絵画展の後片付けも予定となっております。28日日曜日、みつしま120分耐久リレーマラソン大会のスタッフとして本課職員も協力もしくは出場を予定しております。29日、先日行われました赤米の周知事業の写真と絵画を展示したいと考えておりまして、交流センターで11月2日まで予定しております。31日水曜日、長家の建物の調査を近畿大学の先生、学生さんが全面協力していただいて11月3日までするという連絡がっております。以上です。</p>

永留教育長	ただ今、4課の事業予定について報告を行いました。この件に関して質疑等ありませんでしょうか。
齋藤委員	国境サイクリング in 対馬の協力となっていますけれども、第2回目だと思えますけれども、第1回目と比べて参加人数とかわかれば教えていただきたい。
須川部長	先日行われた実行委員会で59名ということでした。韓国からの参加者は、今年度はない。去年と比べては3名の増です。ほぼ変わらない状況です。今年のコースとして、50キロコースと18キロコース、去年より2コース増えます。メインのコースは佐護の異国の見える展望台を回るから20キロくらい伸びている状況です。
永留教育長	ほかにありませんでしょうか。 ないようでしたら、私から4課をお願いをしたいんですけれども、事業計画は学校がいっぱいあっていっぱい仕事があるように見えるのですが。事業ではなくて月間業務をもう少し膨らませていただくと、教育委員会事務局としている業務が教育委員さん方にもわかるのではないかと思います。例えば教育総務課であれば、浅海中統合に向けた地区説明会の準備を10月にやっていくでしょうし、学校教育課であれば人事関係の書類精査もありますよね。そういう大きい項目でいいからもう少し膨らませていただくと、それぞれの事務局がどういうことをやっているのかということをお聞きしたいので、次回から活かしていただければと思います。 事務局から「その他」でありますでしょうか。
齋藤委員	比田勝中学校に10月15日に右代啓祐（うしろけいすけ）さんという現役オリンピック選手、金メダリストが来まして、上対馬総合センターのホールで講演と本校グラウンドで実技をするということで、大変貴重な体験ができると思うのでもし来られる方は来ていただきたいなと思っております。目的が東京オリンピックやパラリンピックに関する大会の認識を深めるということと、平和に貢献できる人材の育成するためと書いてありますので、貴重な体験ができると思っておりますので報告までに。主催はわからないのですが。
中島課長	学校からの要望があって、応募して当たったものですから。一流のアスリートを招く事業というものがあつて。
永留教育長	それは全島の学校に案内をしているのでしょうか。
齋藤委員	おそらく比田勝中学校と上対馬高校だと思います。
永留教育長	ほかに事務局からでも委員さん方からでも「その他」でありますでしょうか。
吉野委員	9月21日に旧今里小学校の軒下に大きな60センチ70センチのハチの巣があつて、南地区の事務所に電話したらその日の夕方すぐ対応してくれたということで感謝しております。黄色スズメバチの獰猛なやつでした。嬉しいことでした。

	ので報告しました。
一宮委員	24日の中高連携協議会の内容について教えていただければ。
中島課長	<p>その時は大きく2つ話題を申し上げたんですけれども、1つが子どもたちの流出状況の表をお示しして、その原因の分析等について中学校の校長先生方と高校の先生方とそれぞれのお考えを述べていただきました。これまでにない、本音に近い話ができただのではないかと思います。中学校側からすれば、高校にも少し魅力ある高校づくりを進めてほしいという声が、直接今まで申し上げる機会があまりなかったのかもしれないのですけれども、3名の校長先生方にお伝えすることができたのではないかと思います。</p> <p>一方で、高校としても努力をしているのだけれども、中学校側のもしくは小学校からの進路指導が、果たして十分になされているのだろうか、対馬で頑張れば島外に出てから受けられる教育とそんなに遜色のない教育が受けられるんだよということも、もっと小学生、中学生のうちから教育していただけたらいいのではないかという意見もあったように思います。それと、学力の分析結果ですね、小中学校の県の学力調査と国の学力調査の結果を、ここ約10年間くらいの結果をお示しして、その経年変化、例えば今の高校3年生が中3の時、中2の時、小6、小5、それぞれ学力調査がある学年ですけれども、その時にどれくらいの点数を取っていたか、国や県と比較してどうかという表をお示しして、高校の先生方はご自分の学校の生徒と比較しながらこの数字を見て頷いておられた方もおられました。不思議なことに同じ対馬なのに学年によってやはり、全国他県と比較した時、差があるなど。今後学力面についても小中と高校が連絡を取り合いながら基礎学力の向上についても努めていかなければならないなど。もちろん小学校・中学校でも努力はしているんですけれども、高校についてもそれらの情報を得て高校として何ができるか、高校としては、少人数の上にさらに少人数に分けて、授業を行う取組をなさっている学校があるんですけれども、なかなかそれが向上に結び付いていないというような悩みもあるようでした。</p> <p>主に話題となったのはその2つなんですけれども、それ以外のこととして、今後特別支援教育とか生徒指導面とかについても中学校と高校で緊密に連絡を取り合って、場合によっては担当者だけの部会を作って対応を考えていかないといけませんねというような話し合いが行われました。</p>
永留教育長	ほかにありませんでしょうか。ないようでしたら、本日の会議はこれで終了いたしますが、次回の会議日程の件で事務局からお願いします。
阿比留課長 補佐	次回を10月22日月曜日、総合教育会議がございますので厳原で開催をいたします。場所は厳原市役所別館会議室を用意しておりますので、教育委員会会議もそちらで開催したいと思います。時間は13時半を予定しております。

